

木村粘投7回2失点

静甲との首位攻防戦は惜しくも敗戦



2試合連続のタイプブレイク

第3節2試合目は開幕節で負けを喫している静甲との対戦。試合は2回表に静甲の4番にソロホームランを打たれ、1点を失ったが、そこから先発の木村は目を覚まし、強打の静甲打線を封じ込め、4つの三振を取りながら打たせて取るピッチングで好投した。7回表に1点を失ったが、7回を投げ2失点。これまで四球で崩れてしまったが、この日は1四球のみと言う驚異の粘投で試合を作った。一方打線は、静甲のエースをなかなか打ち崩せなかったが、7回裏に上原のレフトオーバーの2塁打から反撃を開始。続く村井が内野安打を放ち無死1・2塁となり、続く宮崎が四球を選らび、無死満塁。一死後、打者は原野へ。原野はレフトへのヒットを放ち、二人が還り、同点とした。2試合連続となったタイプブレイクは8回表に2点を失い、その裏は得点を出さず惜しくも敗戦。第3節は1勝1敗となり、順位は2位に。2位には3チームが勝敗数で並び、混戦状態に。勝負の4節は10月10日から3試合が行われる。さあ3連勝してAブロック進出だ。